

浅川地区住民自治協議会だより



せせらぎ

みんなで創る 元気な浅川！

第 107 号

発行日 令和 7 年11月30日

発行人 小 林 克 巳

TEL・FAX 026-244-5165

第43回「浅川ゆうわ祭」開催される！！



11月2日（日）抜けるような秋空の下、第43回「ゆうわ祭」が開催されました。

外会場では地公連恒例の焼きそば・おやき・だんご、浅川葡萄農園のワイン、「チーム・フロンティア浅川」のハックルベリー、社協のやまめ塩焼き・燻製・うどん・ラーメン・お菓子すくい、ふくちゃん会のフリーマーケット、福祉自動車「ふくちゃん号」試乗、産業振興部会の農産物直売、育成会のペン立て作りなど、多彩なブースが設けられ大勢の来場者で賑わいました。

ステージ発表では出演した団体は8団体。初出演の団体もあり日頃の活動の成果を披露、熱演に盛大な拍手が湧きました。展示コーナーでは写真、手まり、絵画など趣味の域を超えた力作が揃いました。館内には更生保護女性会のアップルキッズのお菓子、ポッチャ体験、防災食の試食など、また初めて四柱推命占いとネイル体験コーナーも設けられました。

（教育文化部会 地区公民館連合会）



地公連恒例の焼きそば・おやき



やまめ串焼き

お菓子すくい・
うどん・ラーメ
ン・燻製(社協)



農産物販売（産業振興部会）



浅川葡萄農園ワイン販売

出店・出演
すべて
ご覧下さい！



ハックルベリージャム販売



ふくちゃん会フリマ



育成会ペン立て作り



(左)浅川小学校合唱部 (中)北部中合唱部 (右)すずらん保育園

コーラス (コールポプラ)



太極拳



南京玉すだれ (ほんぼ座)



フォークソング (クローバー)



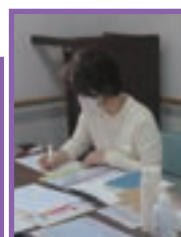
紙芝居 (にこにこ一座)



(右)アップルキッズおやつ (更生保護女性会)



(左)ネイル体験 (右)四柱推命占い



ふくちゃん号試乗

展示コーナー

浅川地区戦没者追悼式挙行される

10月11日(土)戦後80年の節目の年、浅川地区戦没者追悼式が行われ33名が参列しました。式は列席者黙祷、君が代斉唱、小林克巳実行委員長の式辞、埋橋茂人県議、寺沢さゆり市議、竹元忠造遺族会長の追悼の言葉が慰霊に捧げられ、続いて献花が行われました。

遺族会会員も高齢化が進み、会員22名の内9名の出席でありました。

「新しい戦争」が各所で現実化している世界情勢の中で、民主主義の先兵であったアメリカでは

「国防省」の名を「戦争省」に変えるなどという信じがたい事態さえ起きています。

戦争体験者がほとんど亡くなり戦争の記憶の継承が困難になる一方、如何に過去の“過ち”を繰り返すことなく、その痛切な反省の上で日本国

憲法の「戦争放棄」が選択されたということの意味が今ほど問われている時はありません。

戦没者追悼式にあたって様々な思いを抱きながら、戦争放棄を国是とすることの意味を改めて自問する一日となりました。

(浅川地区戦没者追悼式実行委員会)



【黙祷】



【小林実行委員長“式辞”】



【竹元遺族会長“追悼の言葉”】



【献花】



【遺族会、来賓のみなさん】

八櫛神社（ブランド薬師）秋の例大祭行われる！

～ 修復なった社殿をみなさんにお披露目しました。～

10月12日（日）八櫛神社の秋の例大祭が氏子、保存会、寄付を寄せた皆さん18名が参列して、新装なった社殿において五明宮司さんによる神事が行われました。



【厳かにお祓いを受け、玉串奉奠を行いました。】

今年は5月から8月まで長野市文化財補助金を受けて社殿修復を行っており、そのお祓いも併せて行いました。拝殿、床、壁、腰板、天井は張り替えられた木の香りが漂い、拝殿正面の扉には新しい御簾と神前幕もつけられ、奥に鎮座する少彦名命の石仏も満足そうでした。



【参列したみなさん】



【神事後、四阿でお神酒をいただき直会を行いました。】

修復に当たっては歴代区長ほか245名に及ぶ区民、市内外の事業所のみなさんからご寄付を賜りましたこと、改めてお礼申し上げます。

（八櫛神社保存会・ブランド八櫛公園活性化対策委員会・住民自治協議会）

「浅川ダム近郊名所めぐり」案内板完成・設置される！

今年度長野市まちづくり活動支援補助金を受けて、浅川まちづくり計画推進委員会で検討を進めてきた「わくわくウォーキングパーク浅川プロジェクト」の第1弾として「浅川ダム近郊名所めぐり」案内板が完成、10月10日に浅川ダム展望広場に設置されました。

案内板は2基で構成されており、1基は浅川ダム周辺のブランド薬師やフジバカマ苑、ハナモモの里などの名所の案内、もう1基は浅川小学校のみなさんの絵や催し事の案内等が掲示できるようになっています。



【案内板】



【設置された案内板の前で（10/11広場草刈りの後）】

「浅川地域のチョウと自然環境を学ぶ」講座開かれる



【浅川フジバカマ苑に舞う“アサギマダラ”を写真に！】

10月4日（土）浅川公民館「令和7年度地域の学び講座」として浅川フジバカマ苑から長野県環境保全研究所をめぐりバスツアーが行われました。

参加者は16名。フジバカマ苑では渡りの蝶



“アサギマダラ”が舞う中で、フジバカマ苑の維持管理に努めてきた「チーム・フロンティア浅川」のメンバーから取組みの説明を受けました。また環境保全研究所では、環境保全研究所の須賀丈さん（すか たけし）を講師に浅川地域に生息するチョウとその自然環境について学習した後、研究所周辺の森林を散策して浅川の秋を満喫しました。



【環境保全研究所での講義の後、森を散策しました】



浅川小学校でワレモコウの移植が行われました！

～ 希少種の蝶“ゴマシジミ”の保護活動～



【発芽したワレモコウ苗をポットに植え替え】

長野市霊園に生息する絶滅が危惧される蝶ゴマシジミの保護活動の一環で、浅川小学校の4年生のみなさんの協力を得てゴマシジミが卵を産むワレモコウを育てています。

10月2日（木）発芽したワレモコウの苗をポットに移植する作業を行いました。苗は来年の6月ごろ霊園に植え付けられます。

作業の前には「にこにこ一座」の知久莊治さん（西条）のゴマシジミの一生を描いた紙芝居“がんばれゴマちゃん！”を鑑賞しました。

今年も8月からゴマシジミの発生が確認されており、心ない乱獲者から貴重な生物資源を守る取組みの強化が求められています。浅川地区のみなさんのご理解とご協力を改めてお願いします。



【紙芝居“がんばれゴマちゃん！”鑑賞】



【ワレモコウの蜜を吸うゴマシジミ】

2年ぶりにハuckleベリージャムが復活しました！

浅川河川敷に自生するハuckleベリーでジャム作りを始めたのが平成29年。5年目の令和3年には2,000個のジャムを製造するまでになっていました。ところがその後、なぜか苗が育たなくなり令和5年には74個に減り、ついに昨年は収穫ができず、ジャム製造を中止せざるを得なくなりました。

そこで、何とか復活をさせたいと、「チーム・フロンティア浅川」の池田茂さん、板倉鐵雄さんが中心となり、浅川フジバカマ苑対岸の河川敷と板倉さんの畑に種を蒔いたところ、今年、約170kgのハuckleベリーが実りました。

10月11日～13日の3日間、チームメンバー、真光寺地区やボランティアのみなさんの協力で収穫・選別し、信越食品工業株式会社でジャムにいただきました。10月25日には真光寺公民館で出来上がった717個のジャムのラベル貼りを行いました。

11月2日の「ゆうわ祭」で1個600円（1ケース12個入り7,000円）で販売しました。

ご要望の方には、住民自治協議会事務局（☎244-5165）でも注文を受けますので、浅川の特産ジャムをふるってお買い求めください。



【収穫（浅川フジバカマ苑）】



【みんなでヘタ取り（真光寺公民館）】



【みんなでラベルを貼ってジャムができました！】



浅川葡萄農園だより vol. 5 ～初の自家醸造ワイン「ゆうわ祭」で販売！～

10月に入り、いよいよ収穫の季節を迎えました。ブドウはとてとてもよい状態で生育し、しっかりと熟すまで待つことができました。

10月26日に予定していた白ブドウの収穫は雨のため延期になりましたが、11月1日に無事収穫を実施。当日は浅川の皆さんはじめ多

くのボランティアの方々のお手伝いのおかげでとても良いブドウを収穫することができました。

11月2日の「浅川ゆうわ祭」では、初めての自家醸造のワインの販売を行いました。この日を一つの目標にしてきたので、多くの方にお買い求めいただき、温かいお言葉をかけていただけたことが本当に嬉しかったです。心より感謝申し上げます。

黒ブドウの収穫はこれからが本番でワインの醸造もまだ続きます。



【収穫に参加してくださったみなさん、ありがとう！】



～良いブドウ（シャルドネ）ができました！



【浅川地区「ゆうわ祭」で6種類のワイン（右）を販売しました！】



より多くの方に喜んでいただけるよう、これからもブドウ栽培とワインづくりに真摯に向き合い、品質の良いワインの生産に努めてまいります。

今後とも温かいご理解、ご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

（浅川葡萄農園 園主 宋 裕光）

共に生きる



ふれあい会食会を開催しました

おひとり暮らしのご高齢の方をお招きしてのふれあい会食会が開催されました。

今年度も「かざぐるま保育園」の年中・年長のみなさんが参加してくれました。稲田にある保育園から歩いて浅川公民館まで来てくれたお子さんたちの体力に驚き、園児さんの可愛らしい歌や踊りに元気づけられました。

また、北部保健センターと地域包括支援センター博愛の園による個別相談と健康に関する講話も行われました。感染症が流行する季節に向け、正しい手洗いの方法などを教えていただきました。

食事は今回も浅川社会福祉協議会の役員を中心に赤十字奉仕団浅川分団、福祉推進委員会の方々の手作りです。具だくさんの“すいとん”は昔懐かしく、心も身体もぽかぽかと温くなりました。



やってみよう！浅川塾

パール缶やダンボールを使った燻製料理に挑戦しました。

定番メニューのチーズ・サーモン・チキンのほか、今回は手の込んだ「本格レシピ」で味付けたまご・マグロ・ローストビーフも作りました。いつもの食材を自分で燻製にすると、味も格別です。

今回の浅川塾で学んだ方々の有志が11月2日に開催されたゆうわ祭で燻製の販売を行いました。利益の全額が浅川地区の福祉自動車運行助成金として寄付され、地域福祉活動に役立てられています。



地域福祉懇談会

浅川地区で行われている地域福祉活動について、浅川社会福祉協議会と行政連絡区が意見交換をするための地域福祉懇談会が各区で開催されています。

今年度は「〇〇区の昔・今・これから」をテーマに、以前と変わったこと・変わらないこと、今後変わってほしいこと・変わらないでほしいことを福祉の観点で話し合いました。

この懇談会の内容は各区の活動のほか、浅川地区全体の地域福祉活動に反映されていきます。今年度、まだ実施していない区の皆さんもぜひ開催をご検討ください。





8月29日に開催された第71回長野市社会福祉大会において、浅川地区の方が感謝状を授与されました。十年以上の長きにわたり、浅川社会福祉協議会役員として地域福祉活動に携わり、その功績が顕著であると認められました。

吉澤 忠美 様（西平）



地域たすけあい事業 賛助会員さん募集中

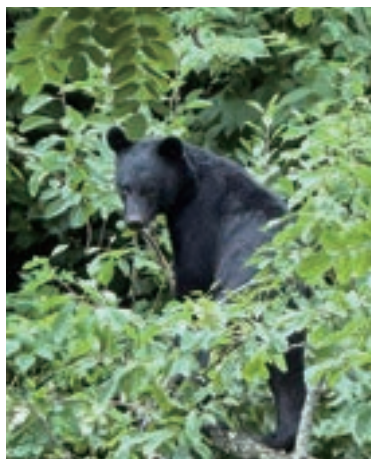
地域たすけあい事業の賛助会員とは、1口1,000円からの地域支援です。

いただいた会費は全額が浅川地区たすけあい事業の運営に使われます。

申込先：たすけあい事業コーディネーター 野口

☎263-3365 まで

“ガサッ、ガサッ！”、見上げたらクマが！！ ～「ツキノワグマ出没注意報」発出中！～



【8月10日のクマ】

市内では10月10日夜から11日未明にかけて浅川押田、柳町中学校、善光寺境内で体長1mほどのクマが確認されるなど、クマの目撃情報が相次いでいます。

9月27日に戸隠で人身被害が発生したことから、県では長野市を含む長野地域に「ツキノワグマ出没注意報」が発出（11月14日まで）し、注意を呼びかけています。

8月10日、中曽根のプルーン畑。鶴田敏光さん（浅川猟友会長）がプルーンを収穫していた時でした。「ガサガサ」という木の枝がこすれるような音がして、「なに？」と見上げたら、隣の畑のプルーンの木に上っているクマ（70kg位の成獣）に出くわしました。あわててカメラを向けましたが、悠然と葉っぱや実を食べて去っていったそうです。



【こちらは昨年7月14日に
中曽根で捕獲・駆除されたクマ】

令和7年度 土木要望現地調査行われる

浅川各区では毎年長野市に対して土木事業に係わる要望事項をまとめ、それに基づいて市担当課職員が地区に出向き、区長他役員立ち会いの下で現地調査を行っています。

今年
は
10月6日、

7日の2日間、道路課、河川課、維持課、農地整備課、森林いのしか対策課が参加し各地区の危険箇所等の確認を行いました。



【台ヶ窪】



【西平】



【坂中】



【伺去】

浅川小学校「浅川チャレンジ」行われる！

～熊対策でコースを大幅に変更して実施～

10月31日（金）子ども達が地域を歩いて、自分たちの暮らす浅川をさらに知ることを目的に浅川小学校の遠足「浅川チャレンジ」が行われました。

今年は長野市内でも熊の発現が相次ぎ、特に山間地における行動には十分注意するよう教育委員会からの指摘もあり、緑が丘公園や善光寺、城山公園、辰巳公園等市街地を巡るコースに変更して行われました。



【元気に出発！】



【緑が丘公園に到着】

北部中学校校外学習行われる！～浅川の名所・史跡を歩く～

10月9日（木）北部中学校1年生の校外学習が行われました。校外学習は、北中生として普段生活をしている学区の地域調べや散策を通して地域の歴史や文化を学ぶことを目的に毎年実施しています。

浅川では「ブランド薬師」、「浅川ダム」、「白岩」、「伺去・ループ橋」の4コース、若槻では「上野」、「東条」、「稲田・徳間」の3コースに分かれて散策し地域の方から説明を受けました。



【参道を歩き、八櫛神社へ→宮澤保存会長から説明を受けました】



【浅川ダム展望広場で昼食】

広報委員から

今期、『せせらぎ』広報委員を仰せ付けられました、長野市赤十字奉仕団浅川分団の岡田です。これ迄、浅川地区住民福祉大会（ふれ愛ふくしまつり）、浅川地区運動会（救護係）、善光寺仁王門下街頭募金（赤い羽根共同募金）、ふれあい会食会に参加し、また、社会を明るくする運動／浅川地区住民の集い、戦没者追悼式に出席する中で、関係者皆様の善意、利他精神、愛に圧倒されて参りました。その活動を一言で表すなら、「奉仕」です。この語を冠す奉仕団の一員として、現在、得難き活動体験を構築できております。今後、ゆうわ祭、浅川地区防災訓練（炊き出し訓練）、浅川冬期学級（防災セミナー）、ふれあいお茶会が続きますが、ミッション握り締め最善尽くし取り組む所存でおります！

広報委員 岡田 匡史（福祉健康部会・赤十字奉仕団長）